

談話会

講師：瀧田 正人(東京大学・宇宙線研究所・教授)

7月29日(木) 11:00-12:00

場所：総合研究棟W701室

“チベットAS γ 実験による 宇宙線・宇宙ガンマ線観測”

内容：チベットAS γ 実験は高エネルギー宇宙線・宇宙ガンマ線の観測研究として、1990年に日中共同実験として始まり、実験装置の拡張・改良を行いながら現在に至っています。現在の実験装置は65,700m²の空気シャワー観測装置、3,400m²の地下ミュオン観測装置、500m²の空気シャワーコア観測装置から構成されており、中国のチベット高原(標高4,300m)に設置されています。数TeV(1 TeV=10¹²電子ボルト)以上の宇宙線・宇宙ガンマ線を広視野(2ステラジアン程度)で常時観測しており、角度分解能は1 TeVで1度、100 TeVで0.2度です。高エネルギー宇宙線のエネルギースペクトルの測定、TeV領域以上のガンマ線放射天体の研究、高エネルギー宇宙線異方性の研究、高エネルギー宇宙線中に生ずる太陽の影の時間変化を観測することによる太陽・地球間磁場の研究が主な研究テーマになっています。

今回の談話会では、それらの中から最近始まったばかりの100 TeV領域(最高エネルギー)ガンマ線放射天体に関する研究を中心にチベットAS γ 実験による宇宙線・宇宙ガンマ線観測をご紹介させていただくことを考えております。

対象：教員及び学生(どなたでもご参加下さい。)

世話人：片寄祐作(内線:4321)